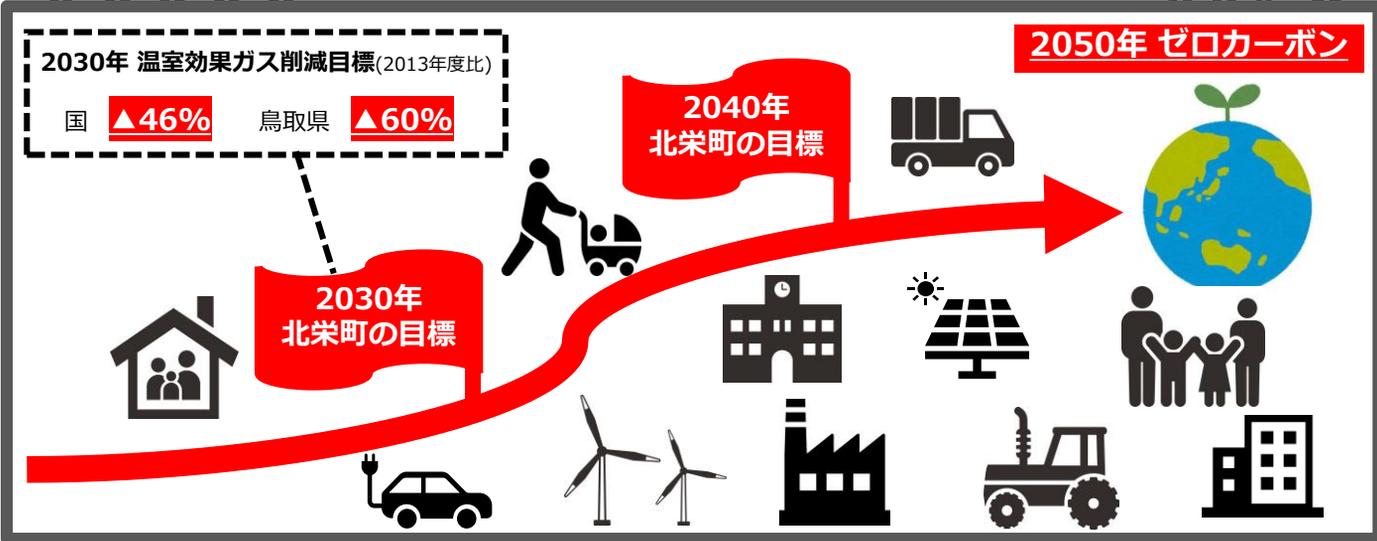


2050年 地球にやさしく、経済の地域内循環と地域の課題解決！ 健康&安全&快適に暮らせる計画づくり

令和4年度

「北栄町脱炭素ロードマップ」

を策定します



北栄町は2019年に「気候非常事態宣言」を表明し、政府は2020年に2050年のゼロカーボン達成（CO2排出を実質ゼロにする）を決め、2021年に法律に盛り込みました。

北栄町は今年度、2050年までにゼロカーボンを実現するための計画づくりに集中的に取り組みます。計画づくりでは、ゼロカーボン達成とともに皆さんの健康&安全&快適な暮らしと、地域経済活動の活性化や経営の安定化・効率化を目指して、町民アンケートや事業所のCO2排出量調査を実施したり、専門家の意見を聞く機会を設けたりして、皆さんと一緒に話し合いを重ねてご意見やアイデアを活かしていきます。30年後の北栄町の計画をみんなで作っていきましょう。

月	7	8	9	10	11	12	1	2	3
脱炭素ロードマップ策定		●町民アンケート (1,000人対象) ●事業所CO2排出量調査・省エネ診断		●アンケート結果(町報)				パブリックコメント	策定
脱炭素経営セミナー・実践研修会		脱炭素経営セミナー 8月30日(火)			SDGs・脱炭素経営 実践研修会 11月24日(木)				
住民ワークショップ				ほくえい未来トーク 10月 2日(日)・29日(土)					

●脱炭素経営セミナー

「SDG s とシュタットベルケ～地域からお金が逃げない方法～」(一社)クラブヴォーバン 代表 村上敦氏

- SDG s は2030年に向けて将来の子どもたちのニーズを損なわないような社会を実現しようとする事。
- シュタットベルケは、地域の課題を地域にある資源と住民の協力で解決するしくみで、北栄町においては省エネと再生可能エネルギーを積極的に活用することで、地域経済の強化を目指し、様々な事業者が関わって脱炭素の取り組みをリードして欲しい。

「脱炭素経営と地域新電力、PPAについて」(株)エナテクス エコソリューション事業部部長 高橋泰郎氏

- 脱炭素経営とは、脱炭素の考え方に基づいて企業が経営戦略や事業方針を考えること。脱炭素イコール「コスト」という捉え方ではなく、新しい時代へのビジネスステージ、企業ブランド価値向上への投資という認識が大切。

●SDG s ・脱炭素経営実践研修会

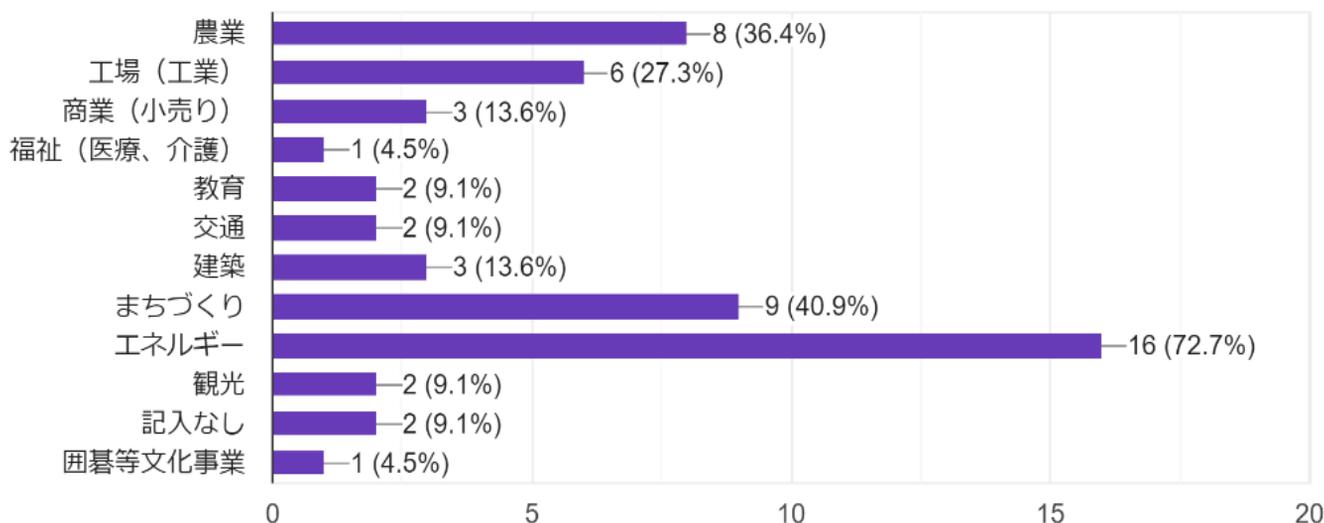
取組まないことが最大のリスク「脱炭素経営の意義」と「わが社の脱炭素経営」

ローカルエナジー(株)、(株)花工房あげたけ、(株)エナテクス、(株)北条ワイン醸造所から脱炭素経営の手法や取組事例の発表を受け、「脱炭素経営の意義」と「わが社の脱炭素経営」について意見交換

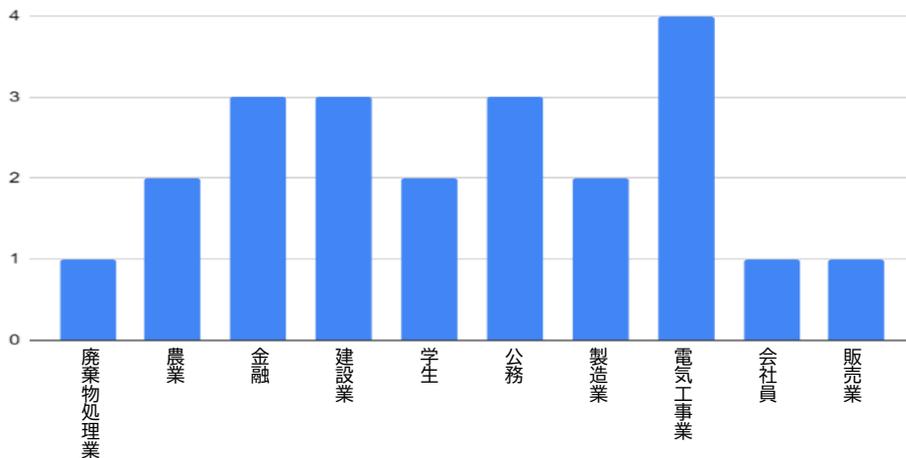
参加者アンケートより

- 脱炭素経営が目的ではなく地域の持続可能性や経営改善の手段であることが分かった
- エネルギー使用量の把握(見える化)が取組の第一歩である
- 脱炭素推進事業を評価しブランディングに活かすことも必要
- 各社ともいろいろな取組をしていて、持ち帰って自社の事業に落とし込みたい

脱炭素経営について、町や商工会、近隣の事業者等と連携して計画づくりをするのであれば、どの分野に興味がありますか？(複数回答の場合3つ程度)



参加者の業種



●ほくえい未来トーク

グループ	2050年脱炭素に向けて自分たちが取り組めること
住宅	光熱費やCO ₂ 排出量の見える化が省エネや脱炭素への行動につながる。太陽光パネルの設置について、住宅側の強度の調査が必要。
食・農	コスト・CO ₂ 排出量削減のため選果場と加工場を一体化し太陽光パネル設置とLED化。スマート農業で取り組みやすい体制づくり。
交通・まちづくり	生活に必要な施設が集まり、高气密高断熱の住宅で安心して暮らせるコンパクトシティを整備。乗り合いによる交通手段の確保。

●脱炭素達成のキーワード

- ・省エネ対策と再エネ導入
- ・住民、事業者、町の連携・協働
- ・地域課題解決・地域経済循環

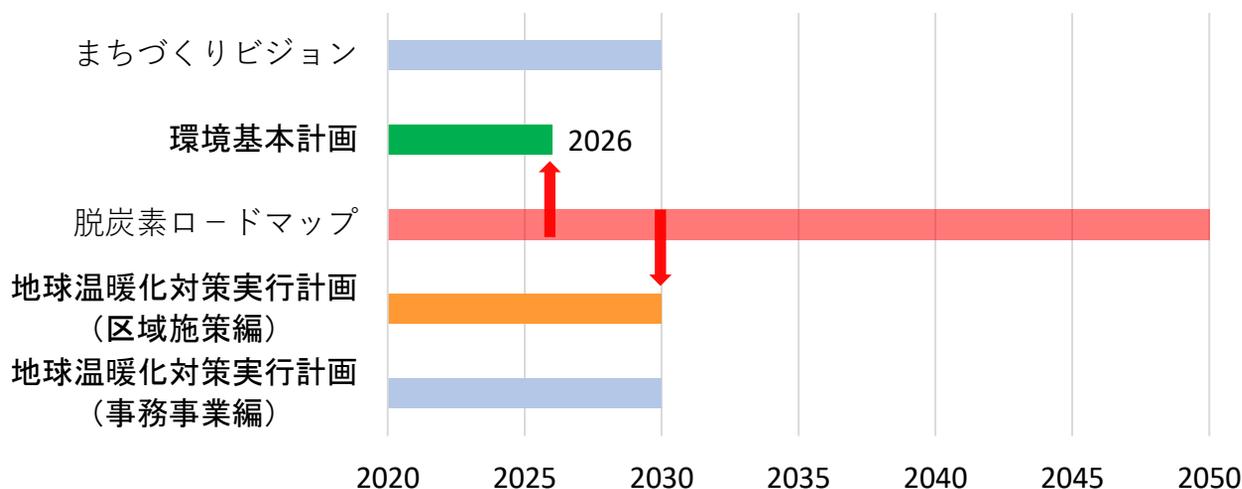
※地域循環共生圏を目指す取り組みの実施

北栄町ホームページ

セミナーの様子、アンケート結果などはこちら

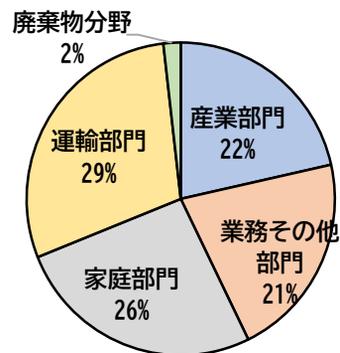
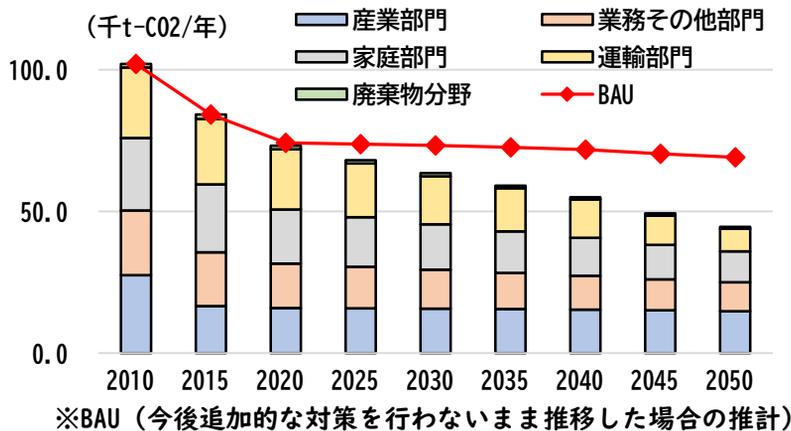


●各種計画の計画期間



●C02排出量の推計（BAUと省エネ対策実施）

●C02分野別排出割合（2019年）

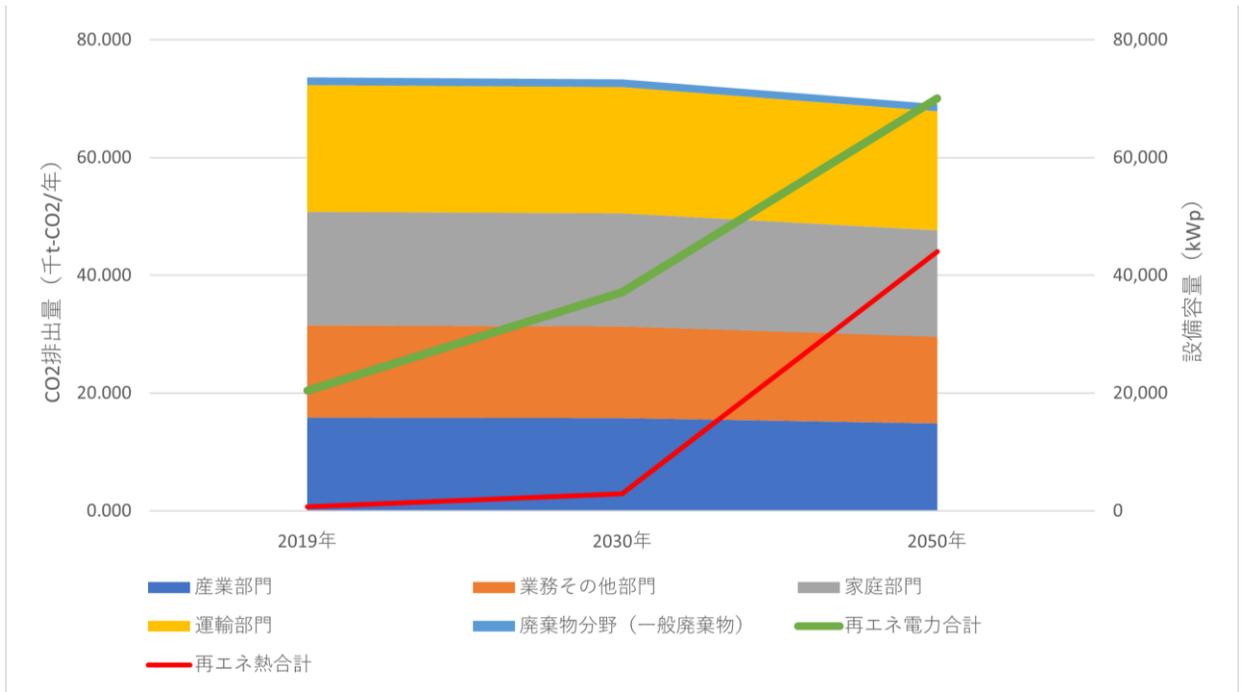


省エネ対策	量
新築建物のZEH・ZEB	～2030年 30戸/年 2040年 100戸/年 2050年 140戸/年
既存建物の省エネ改修	住宅 60戸/年 非住宅 7戸/年
・空調設備、給湯設備、冷蔵・冷凍設備の省エネ型への更新 ・電気自動車への更新 ・充電設備設置（+ソーラーカーポート） ・コンパクトシティ（駅周辺） ・4Rの取り組み 等	

再エネ種別 導入量	① BAU 風車なし	BAU 風車あり	省エネ最大 風車なし	② 省エネ最大 風車あり
太陽光発電（住宅・事業所）	3,600戸	1,100戸	3,200戸	1,100戸
太陽光発電（野建て）	300ヶ所	90ヶ所	300ヶ所	60ヶ所
陸上風力発電		30MW		30MW
水力発電（農業水路）	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所
バイオマス発電（木質系）	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所
バイオマスボイラ（木質系）	100ヶ所	100ヶ所	6ヶ所	6ヶ所
太陽熱温水器	2,000件	2,000件	1,000件	1,000件
薪・ペレットストーブ	2,000件	2,000件	1,000件	1,000件

脱炭素シナリオ①

BAUのケースのように省エネ、技術転換の努力を特段実施せずに、移行状況は市場に完全に任せたままで、町内に再エネを熱心に大量に導入する
(例 BAU・風車なし)



脱炭素シナリオ②

省エネ最大のシナリオのように町内の省エネ、技術転換を最大限に（政策的にも、住民・事業者参加の意味でも）導入して、かつ、町内に再エネを最低限度で済むように導入する

(例 省エネ最大・風車あり)

